

市老人福祉センター（若草町）

講座名	定員(人)	開催曜日	時間
民謡	40	毎週火曜	13:30~15:30
社交ダンス	男35 女35		
吟詠	30	毎週水曜	14:00~16:00
陶芸	10	第1・3水曜	13:30~15:30
大正琴	15	第2・4水曜	
カラオケ	35	毎週木曜	
料理	30	第1・3木曜	10:00~13:00
俳句	15	第1・3金曜	13:00~15:00
皮工芸	20	毎週金曜	10:00~12:00
茶道(抹茶)	20		13:30~15:30

中村老人福祉センター（中村三丁目）

講座名	定員(人)	開催曜日	時間
絵手紙	25	毎週月曜	10:00~12:00
陶芸	10	第2・4水曜	13:30~15:30

鷹子老人福祉センター（鷹子町）

講座名	定員(人)	開催曜日	時間
民謡	30	毎週水曜	13:00~15:00
パソコン	前期	4~9月 毎週水曜	10:00~12:00
	後期	10~3月 毎週水曜	
吟詠	30	毎週木曜	14:15~16:15
俳句	15	第1・3金曜	9:30~11:30

※祝・休日は休講。パソコン講座は前期・後期とも同じ内容

平成25年度 受講生 募集

老人福祉センター 教養講座

申し込みは2月22日まで

【対象】市内在住の65歳以上（4月1日時点）、または高齢クラブ会員▼原則、初めて受講する人

【会場・内容・定員】左表のとおり。応募多数の場合は抽選

し、少数の場合は開講しないことがあります。会場へは公共交通機関をご利用ください

【期間】4月~平成26年3月

【受講料】無料(教材費などは各自負担)

【申し込み】2月22日(金)(必着までに、往復はがき(1枚につき1人)に郵便番号、住所、氏名(ふりがな)、性別、生年月日(年齢)、電話番号、希望センター名・講座名(1講座のみ)を記入し、高年齢クラブ名(会員のみのみ)を書いて、〒7900808若草町8-2市老人福祉センターへ

お問い合わせは、市老人福祉センター ☎921216

1・FAX 9342221へ

お問い合わせは、市民参画まちづくり課 ☎948673

6・FAX 9343157へ

別府 武志さんは、平成7年に姫山小学校が開校して以来、毎朝国道196号線の姫原橋交差点に立ち、児童への横断補助やあいさつなどの見守り活動を行っています。児童の安全確保や健全育成に貢献しています。(推薦者 姫山小学校)

市民が見つけたいいこと情報

市民の皆さんから寄せられた身近な心温まる情報を紹介します。



グループに分かれ、積極的に意見交換する参加者

お問い合わせは、教養講座 ☎9486871・FAX 9341815へ

お申し込みは、他校の対策を自分の学校にも取り入れたいです。また、あいさつや呼び掛けに相手の名前を入れるなど、日頃からできる取り組みをレベルアップしていきたいです」と話しました。

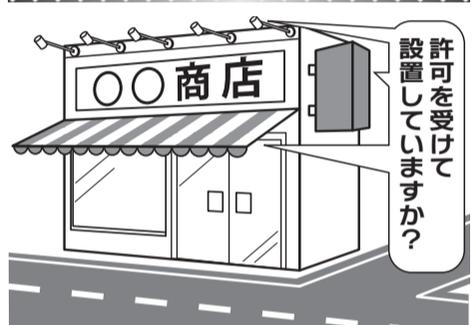
いじめゼロ ミーティング

小中学生がいじめについて考え意見を発表し合う「子どもから広がるいじめ0ミーティング」が平成24年12月26日、総合コミュニケーションセンター

で開催され、市内の児童・生徒、保護者、教員ら約300人が参加しました。

野志市長が「傷つける言葉もあるが、元気づけたり勇気づけたりする言葉を使ってほしい」と言葉の使い方の大切さを伝えた後、児童・生徒は「人権委員をつくる」「友達同士が仲良くできる活動をす

道路占用料を改定します



本市の実情に合わせ松山市道路占用料徴収条例を改正し、4月1日から道路占用料を改定します。これまでに許可を受け続けている人も、平成25年度の支払い分から料金が変わります。詳細は市ホームページをご覧ください。

道路の占用とは？

道路上(上空を含む)に突き出し看板や照明器、日よけ、足場などを設置し、継続して道路を使用することをいいます。道路を占用するにはその道路の管理者市道の場合は松山市)の許可を受け、面積や設置期間に応じた占用料が必要です。

道路占用物 適正化に向け 指導強化中!

市内には許可基準に適合しないものや、無許可で道路上に設置してあるもの、本来道路に置いてはいけないもの

お問い合わせは、道路管理課 ☎9486473・FAX 9341805へ

許可を受けていない物件は許可なく道路上に出ているものは敷地内に置くか、撤去してください

(陳列商品・のぼり・置き看板・植木鉢・車の乗り入れスロープなど)が多数存在します。これらは通行上の支障となるとともに事故の原因となり、責任を問われることがあります。

本市では市民が安全・安心に通行できる道路空間を目指して、道路占用物の適正化に向けて指導を強化しています。



貫頭衣を着て稲刈り体験

間に「米米クラブ IN 久米」と題し、赤米(古代米)を育てる学習に取り組んでいきます。地域のたくさんの人に教えていただきながら、もみまき、田植え、稲刈りなどを行います。稲刈りでは、弥生時代の「貫頭衣」という衣装を着て、石包丁や木包丁を使って稲穂を刈り取る体験もします。そして赤米を使って調理

地域と共に育つ久米っ子

久米小学校では、重点目標に「ふるさとに学び、誇りをもつ子の育成」を掲げ、人、自然、文化、社会環境に恵まれた地域性を生かした特色ある学校づくりに取り組んでいます。

5年生では、平成13年度から久米まちづくり推進委員会と連携し、総合的な学習の時間

地域で育つ松山っ子

第28回 久米小学校

児童数 男421人・女406人・計827人 (平成25年1月1日現在)



感謝祭で地域の人へプレゼント

昔の人が使っていた貫頭衣と石包丁で稲刈りをして、大昔から稲を作っていることに驚きました。(5年男子)

地域の人のおかげで古代米を作ることができたので、感謝したいです。私たちがこの伝統を受け継いでいきたいです。(5年女子)

住む久米地区に目を向け、お世話になった皆さんに感謝と親しみの気持ちを持つとともに、久米の自然や環境、歴史・文化についての理解を一層深めることができました。今後地域に学び、地域と共に生きる子どもたちの育成に努めていきます。

をしたり、地域の文化祭や春祭りや赤米の販売をしたりします。また赤米料理や劇、プレゼント作りなど、自分たちで感謝祭を企画・準備し、お世話になった人を招待しました。この感謝祭は、招待された地域の人に好評です。

子どもたちはこのような体験活動を通して、自分たちの